＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	次世代快適健康住宅～暖かい家～
グループの名称	次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」
直近採択グループ番号	04-0393-0069

（グループ代表者）

代表者名	八重畑　順一　代表者印
代表者所属先	株式会社八重働工務店
代表者所在地	岩手県盛岡市東安庭2-4-15
代表者電話番号	019-651-1187

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社吉田産業　盛岡支店
事務局担当者名	三浦　和人　印
事務局郵便番号	020-0122
事務局所在地	岩手県盛岡市みたけ四丁目7-55
事務局電話番号	019-641-5252
事務局FAX	019-641-8430
事務局担当者E-mail	kazuhito-m@yoshidasangyo.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	次世代快適健康住宅～暖かい家～
２．グループの名称(必須)	次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0393-0069
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県全域
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	八重畑　順一
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社八重働工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	岩手県盛岡市東安庭2-4-15
９．グループ代表者電話番号(必須)	019-651-1187
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社吉田産業　盛岡支店
１１．グループ事務局担当者名(必須)	三浦　和人
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	020-0122
１３．グループ事務局所在地(必須)	岩手県盛岡市みたけ四丁目7-55
１４．グループ事務局電話番号(必須)	019-641-5252
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	019-641-8430
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kazuhito-m@yoshidasangyo.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	11	海外業者の場合は必要な念書を入手出来ない為に含んでいない。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	16	海外業者の場合は必要な念書を入手出来ない為に含んでいない。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	9	プレカット業者が流通を通さず直接仕入れる場合がある。海外流通会社の場合もある為含んでいない。
Ⅳ. プレカット	7	現場組みの施工業者・自社工場所有会社がある為、プレカットを通さない場合がある。
Ⅴ. 設計	14	施工の構成員が社内で設計を行う事がある為、含まない事がある。
Ⅵ. 施工	16	
Ⅶ. 木材を扱わない流通	1	
Ⅷ. Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	■　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	合法木材証明制度	国内	合法木材証明制度	1	国内
	合法木材証明制度	国外	合法木材証明制度	2	国外
	合法木材証明制度	国内	合法木材証明制度	4	国内
	合法木材証明制度	国外	合法木材証明制度	4	国内

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	10	戸
		申請が未確定（上限100万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	10	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	10	戸
		申請が未確定（上限100万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	10	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		16	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	16	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	5	戸
		申請が未確定（上限100万円）		16	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	16	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	5	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		16	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	16	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	5	戸
		申請が未確定（上限100万円）		16	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	16	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	5	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	10	戸
		申請が未確定（上限165万円）		15	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	15	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	10	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟
			0	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	長寿命型・高度省エネ型住宅の促進の為、各業者に対して均等に配分する。過去申請実績ある事業者にも戸数配分を均等に行い、未経験工務店を牽引してもらう。その上で、枠が下回る場合は受注が確実な業者に配分を行う

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外業者の場合は必要な念書を入手出来ない為に含んでいない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
3	Ⅰ－ 2	岩手県森林整備協同組合		020-0025	岩手県盛岡市大沢川原2丁目5－38	019-651-5522
3	Ⅰ－ 3	岩手県国有林材生産協同組合連合会		020-0024	岩手県盛岡市菜園1丁目3－6 農林会館6F	019-626-7631
3	Ⅰ－ 4	有限会社二和木材		020-0601	岩手県滝沢市後268－56	019-688-4643
3	Ⅰ－ 5	有限会社泉林業		029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字田谷54	0192-46-2626
13	Ⅰ－ 10	日本製紙木材株式会社		101-8213	東京都千代田区神田駿河台4－6	03-6665-7500
3	Ⅰ－ 11	協同組合さんりくランバー		029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米20－5	0192-49-1661
5	Ⅰ－ 12	株式会社八幡平貨物		018-5141	秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116－12	0186-34-2011
3	Ⅰ－ 18	遠野地区国有林材生産協同組合		028-0513	岩手県遠野市東穀町5番42号	0198-62-3439
13	Ⅰ－ 19	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅰ－ 42	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3－1－1	0823-71-7141
44	Ⅰ－ 58	株式会社九州木材市場		877-1231	大分県日田市大字三和2726－10	0973-24-3625
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					
	Ⅰ－					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外業者の場合は必要な念書を入手出来ない為に含んでいない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
3	Ⅱ － 4	有限会社二和木材		020-0601	岩手県滝沢市後268－56	019-688-4643
3	Ⅱ － 11	協同組合さんりくランバー		029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米20－5	0192-49-1661
3	Ⅱ － 17	有限会社稲村製材所		028-4303	岩手県岩手郡岩手町江刈内7－1－1	0195-62-4211
13	Ⅱ － 19	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅱ － 20	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3－1－1	0823-71-7141
4	Ⅱ － 21	株式会社山大		986-0842	宮城県石巻市潮見町2－3	0225-93-1111
3	Ⅱ － 24	三陸木材高次加工協同組合		029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字田谷14－2	0192-49-1088
3	Ⅱ － 25	豊田木材株式会社		027-0024	岩手県宮古市磯鶏1丁目5－28	0193-62-5127
13	Ⅱ － 26	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1－7－22	03-5534-3711
3	Ⅱ － 27	株式会社工藤材木店		020-0125	岩手県盛岡市上堂3丁目2番15号	019-464-3215
3	Ⅱ － 28	株式会社松田製材所		028-7301	岩手県八幡平市野駄第21－255	0195-74-3437
3	Ⅱ － 29	有限会社高吟製材所		028-5402	岩手県岩手郡葛巻町葛巻12－24－6	0195-66-2941
44	Ⅱ － 52	株式会社佐藤製材所		877-1244	大分県日田市大字小野26－1	0973-26-5850
5	Ⅱ － 53	株式会社宮盛		018-1734	秋田県南秋田郡五城目町大川大川字沖面195	018-875-2151
29	Ⅱ － 54	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15－1	0746-32-0563
3	Ⅱ － 82	岩手木材市場協同組合		020-0891	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2丁目5－6	019-638-5075
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
プレカット業者が流通を通さず直接仕入れる場合がある。海外流通会社の場合もある為含んでいない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
3	Ⅲ － 4	有限会社二和木材		020-0601	岩手県滝沢市後２６８－５６	019-688-4643
13	Ⅲ － 10	日本製紙木材株式会社		101-8213	東京都千代田区神田駿河台４－６	03-6665-7500
13	Ⅲ － 26	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場１－７－２２	03-5534-3711
3	Ⅲ － 27	株式会社工藤材木店		020-0125	岩手県盛岡市上堂3丁目2番15号	019-464-3215
3	Ⅲ － 35	株式会社丸岩		023-1101	岩手県奥州市江刺区岩谷堂字袖山11-36	0197-31-1261
2	Ⅲ － 39	株式会社吉田産業		031-8655	青森県八戸市大字廿三日町2	0178-47-8111
1	Ⅲ － 43	株式会社テーオーフォレスト		040-0014	北海道函館市中島町38番8号	0138-83-6651
13	Ⅲ － 59	株式会社ザイエンス		100-0005	東京都千代田区丸の内2丁目3番2号	03-3284-0501
4	Ⅲ － 81	株式会社マルハラ		985-0015	宮城県塩竈市中の島61	022-364-0015
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
現場組みの施工業者・自社工場所有会社がある為、プレカットを通さない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
3	Ⅳ － 27	株式会社工藤材木店		020-0125	岩手県盛岡市上堂3丁目2番15号	019-464-3215
3	Ⅳ － 35	株式会社丸岩		023-1101	岩手県奥州市江刺区岩谷堂字袖山11-36	0197-31-1261
1	Ⅳ － 37	佐藤木材工業株式会社		049-0101	北海道北斗市追分3丁目1番5号	0138-49-7800
2	Ⅳ － 38	株式会社吉田産業ハウジング加工センター		039-2246	青森県八戸市桔梗野工業団地3丁目４－５１	0178-20-5780
15	Ⅳ － 40	株式会社東新林業		957-0122	新潟県北蒲原郡聖籠町三賀288	0254-27-3477
3	Ⅳ － 50	株式会社小田島工務店		020-0632	岩手県滝沢市牧野林1012－2	019-687-2510
4	Ⅳ － 55	ポラテック東北株式会社		981-4203	宮城県加美郡加美町菜切谷字中野一番5番地4	0229-63-8815
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
施工の構成員が社内で設計を行う事がある為、含まない事がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
2	Ｖ － 39	株式会社吉田産業		031-8655	青森県八戸市大字廿三日町2	0178-47-8111	○	
4	Ｖ － 56	ポラテック東北株式会社一級建築士事務所		984-0051	宮城県仙台市若林区新寺１－４－５ノースピアビル7階	022-256-6092	○	
3	Ｖ － 61	株式会社ジョイホーム		020-0122	岩手県盛岡市みたけ四丁目４－２	019-646-2313	○	
3	Ｖ － 63	ヤエハタ建築設計事務所		020-0824	岩手県盛岡市東安庭二丁目4番15号	019-651-1187	○	
3	Ｖ － 64	株式会社ディアホーム		020-0866	岩手県盛岡市本宮四丁目44－２	019-613-2506	○	
3	Ｖ － 66	サトコンホーム設計室		020-0731	岩手県滝沢市篠木明法124番地10	019-684-6061	○	
3	Ｖ － 67	株式会社タカヤ一級建築事務所		020-8588	岩手県盛岡市本宮5丁目5番5号	019-659-2811	○	
3	Ｖ － 68	小田島一級建築設計事務所		020-0632	岩手県滝沢市牧野林1012－２	019-687-2510	○	
3	Ｖ － 69	アース設計		028-6951	岩手県二戸市浄法寺町清水尻1番地	0195-38-3495	○	
3	Ｖ － 70	小原建築設計事務所		020-0011	岩手県盛岡市三ツ割2丁目１－14	019-661-0110	○	
3	Ｖ － 71	住設計事務所		020-0147	岩手県盛岡市大館町26－６	080-1691-4498	○	
3	Ｖ － 72	協同組合建翔一級建築士事務所		020-0834	岩手県盛岡市永井14地割5番地	019-637-3600	○	
3	Ｖ － 73	大伸工業一級建築士事務所		020-0834	岩手県盛岡市永井14地割5番地	019-638-3251	○	
3	Ｖ － 76	RURAL DESIGN一級建築士事務所		028-4125	岩手県盛岡市好摩字上山14番地21	019-682-1591	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							16	○	○
3	Ⅵ － 45	60181	サトコンホーム株式会社		020-0731	岩手県滝沢市篠木明法124－10	019-684-6061	○	
3	Ⅵ － 46	60095	大伸工業株式会社		020-0834	岩手県盛岡市永井14地割5番地	019-638-3251	○	
3	Ⅵ － 47	60096	協同組合建翔		020-0834	岩手県盛岡市永井14地割5番地	019-637-3600		○
3	Ⅵ － 48		有限会社みちのく建設		028-4125	岩手県盛岡市好摩字上山14－21	019-682-1591	○	
3	Ⅵ － 49	60156	有限会社ユーロハウス		020-0835	岩手県盛岡市津志田町三丁目1番27号	019-637-1161		○
3	Ⅵ － 50	60217	株式会社小田島工務店		020-0632	岩手県滝沢市牧野林1012－2	019-687-2510	○	
3	Ⅵ － 51	60207	小原建設		020-0011	岩手県盛岡市三ツ割2丁目1－14	019-661-0110	○	
3	Ⅵ － 60	60335	株式会社八重働工務店		020-0824	岩手県盛岡市東安庭二丁目4番15号	019-651-1187	○	
3	Ⅵ － 61	60278	株式会社ジョイホーム		020-0122	岩手県盛岡市みたけ四丁目4－2	019-646-2313	○	
3	Ⅵ － 62	60122	有限会社建築クボタ		028-6802	岩手県二戸市浄法寺町清水尻1番地	0195-38-3495	○	
3	Ⅵ － 74		株式会社留場建設		020-0622	岩手県滝沢市野沢64－46	019-688-1969	○	
3	Ⅵ － 75	60344	株式会社タカヤ		020-8588	岩手県盛岡市本宮五丁目5番5号	019-659-2811	○	
3	Ⅵ － 77		有限会社丸義工務所		020-0817	岩手県盛岡市東中野字見石35－4	019-622-0435	○	
3	Ⅵ － 78		有限会社葛巻工務店		020-0611	岩手県滝沢市巣子1197－22	019-688-4030	○	
3	Ⅵ － 79	60366	有限会社美建工業		020-0503	岩手県岩手郡雫石町七ツ森182番地6	019-692-4210	○	
3	Ⅵ － 80	60364	有限会社カネキ		028-6105	岩手県二戸市堀野字大谷地27番地4	0195-23-6797	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
3	Ⅵ － 45	60181	サトコンホーム株式会社	10 戸	15 戸	2 戸	4 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	○
3	Ⅵ － 46	60095	大伸工業株式会社	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	○
3	Ⅵ － 47	60096	協同組合建翔	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	
3	Ⅵ － 48		有限会社みちのく建設	9 戸	9 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
3	Ⅵ － 49	60156	有限会社ユーロハウス	3 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
3	Ⅵ － 50	60217	株式会社小田島工務店	10 戸	7 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
3	Ⅵ － 51	60207	小原建設	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
3	Ⅵ － 60	60335	株式会社八重働工務店	10 戸	8 戸	3 戸	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	○
3	Ⅵ － 61	60278	株式会社ジョイホーム	22 戸	22 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	○
3	Ⅵ － 62	60122	有限会社建築クボタ	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
3	Ⅵ － 74		株式会社留場建設	1 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
3	Ⅵ － 75	60344	株式会社タカヤ	52 戸	62 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○		
3	Ⅵ － 77		有限会社丸義工務所	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
3	Ⅵ － 78		有限会社葛巻工務店	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
3	Ⅵ － 79	60366	有限会社美建工業	9 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○		○		
3	Ⅵ － 80	60364	有限会社カネキ	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○		
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
2	Ⅶ － 39	株式会社吉田産業		031-8655	青森県八戸市大字廿三日町2	0178-47-8111
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
2	Ⅷ － 39	株式会社吉田産業		031-8655	青森県八戸市大字廿三日町２	0178-47-8111
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 次世代快適健康住宅～暖かい家～	（地域型住宅供給対象地域） 岩手県全域
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」	（結成年） 2015　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0393-0069	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	積雪量が1Mを越え、更には盆地ならではの気候で冬は－10度以下になる寒冷地である。 冬期間における生活の負担軽減を考えた家作りの設計・施工を行う。具体的には地域区分以上のUA値を超える設計を行い、暖房費の低減と節約を行う。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	寒冷地の生活において、十分な断熱性を確保した設計・施工を行う事にする。 また、耐震性においても十分に考慮して地域材（県産材・合法木材）の積極的な活用を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	積雪に配慮した勾配屋根、または屋根材の選定を行い、通常の範囲の積雪時の雪下ろしが必要ない設計とする。 また、それに耐えうる構造とする。	○
④ ①～③の背景	岩手県全域においては全体的に降雪があり、特に内陸部・山間部は特に積雪が多く寒さが厳しい。 その為、室内環境を良好に保つ必要がある。屋根の計上・断熱仕様に十分配慮する事で落雪事故やヒートショックなどを未然に防ぐ事を目的とする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造材はJAS認定の集成材とし、105mm以上角柱を基本とする。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：使用する建材はメーカー、流通業者、施工業者が作成する、「オリジナルプラン」「パッケージ商品」を作成し、その仕様書を基にお施主様に提案する。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：使用する建材はメーカー、流通業者、施工業者が作成する、「オリジナルプラン」「パッケージ商品」を作成し、その仕様書を基にお施主様に提案する。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：「オリジナルプラン」「パッケージ商品」の一括仕入れにより、コストダウンを図る。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：統一の価格表を作成し見積りに掛かる時間の短縮を図る。また、見積・積算するにあたりソフト・Webシステムの導入も検討して合理化を図る。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：事務局が主体となりグループ構成員と必要に応じ、合理化に向けた話し合いの場を設けて協議を行う。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：高性能住宅（長期優良・認定低炭素・ゼロエネルギー住宅）への取組みがまだない施工業者に資材・機材の提案を行い採用によるメリットを周知する。具体的には、定期的な勉強会や説明会を企画し実施する。	○
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：主要部分における施工基準マニュアルを協議しガイドラインを作成する.	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：検査基準項目からなるチェックリストを用いて、各構成員の社内検査を基とする。または、必要に応じて第三者機関の検査や、性能評価等の検討と実施する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：仕様の標準化を進め、価格表を整備して原価把握を容易する仕組みを構築する。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅の施工実績のあるグループ構成員から、実物件での暖房費や光熱費データー、体験談などを紹介する機会を作り実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）次世代快適健康住宅～暖かい家～	（地域型住宅供給対象地域）岩手県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0393-0069	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積				
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報は共通の管理項目・方法によりファイリングしたものを保管・保存する。	○
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：常に最新の状況をメンテナンスしておく。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：顧客管理ソフト等を活用する。	○
	② メンテナンス基準の整備				
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報を基に、定期連絡・定期訪問を実施して、住宅に関する適切なアドバイス、提案、対応を行う。	○
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：メーカー各社のメンテナンス部門との連携により、急なトラブルにも対応出来る迅速なアフターフォロー体制を整備する。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：顧客管理ソフト等を活用する。	○
	③ 住まいの管理				
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：住宅見学会・各種定期イベントの開催時期に合わせて行う。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：住宅見学会・各種定期イベントの開催時期に合わせて行う。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：住宅見学会・各種定期イベントの開催時期に合わせて行う。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：事務局を中心に構成員に対して情報を発信できる場を設ける。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ構成員の工務店と協議し維持保全の対応を行う（有償）。また各種補償制度の活用推進、提携弁護士に相談等の対応を依頼する。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：任意の各種長期補償制度を積極的に活用しユーザーの信頼と安全を確立する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：経験工務店の事例を基に、勉強会を開催する。また外部研修会への参加実施を行う。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：モデルプランで使用建材（メーカー）を推奨している。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局での手続代行を原則とする。	○
	③-1 需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：グループで定例会（年2回）で勉強会を行い受給計画の作成と見直しを行う。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：国策に基づくロードマップより、良質で省エネな高性能住宅の安定供給に向けた体制の強化と需要拡大に向けての目標を策定する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：各業種ごとに安定供給の為、生産性の向上やコストダウン、流通体制の整備など、情報収集や検討を重ね努力する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 14		今年度の参加目標人数 15	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 14		今年度の参加目標人数 15	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：開催日の情報を早急に掴み、各構成員に発信して参加を促す。	○
c	① 新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：メーカー・商社の開発部門と協力して共同での研修会を行い検討を行う。	○
	② 新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：モデルハウス・実験棟・既築物件等を活用し試験採用（モニター）、実験検証を行い、データ化して検討する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		各住宅資材メーカー各社主催の勉強会・説明会には積極的に参加を行い、新しい知識・技術の習得に努める。			○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）次世代快適健康住宅～暖かい家～	（地域型住宅供給対象地域）岩手県全域
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0393-0069	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	岩手県産材・国産材・合法木材（国内・国外）のいずれかを主要構造材に採用して、構造部分の強度を担保する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材 土台：□ 使用していない ■ 使用している 柱：□ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等：■ 使用していない □ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木供給 ⇒ 製材・集成材製造・合板製造 ⇒ 流通 ⇒ プレカット業者 ⇒ 施工業者の流れとする。 ただし、手刻みの施工業者、現場組みでの業者、更に自社でプレカット工場を持っている会社に関しては、 プレカット業者を通さない場合がある。合法木材の使用にあたり、供給元が国外の場合もある。その為、 出荷時業者が特定できない事もあるが、その場合はグループ構成員による合法性の証明を行う。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局が中心となり、地域材の在庫量の情報収集を行い構成員へ発信する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局が中心となり、地域材の価格の情報収集を行い構成員へ発信する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：工務店や材木店との情報交換・共有しながら地域材の使用量と使用時期を把握し、安定した材料の需給バランスを確保する取り組みを促進する。	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：伝統的なデザイン・技術を継承する為、熟練した職人から技術を学ぶ場を作る。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の方々との交流を深めるイベントを検討・実施する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：建築地の景観等に配慮する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：グループ内の共通ルールは設けないが、各施工業者で取組みを行い完成後はグループ内で見学し取り組む事にする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		施工にあたりなるべく地元の業者に施工に入ってもらい、住宅建設を通じ地域の貢献に勤める。	○

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当グループは被災地の為、グループ一丸となり復興住宅建設に寄与する。 被災者に向けて、補助金等の情報を提供する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 次世代快適健康住宅～暖かい家～	（地域型住宅供給対象地域） 岩手県全域
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） 次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0393-0069	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅を設計する際は、地域区分以上のUA値になるようにする。また、暖房器の日射取得をと冷房期の日射遮蔽の両立が図れるように庇や、窓・ガラスの特性をよく理解して採用していく。また、躯体性能を十分に上げておくことで、建設当初導入した設備が更新されても一次消費エネルギーが標準の▲10%を維持できるようにする。

ゼロエネルギー住宅では、太陽光発電を除く評価結果のエネルギー削減率(R0)を28%を目標とし、全体としての評価結果を103%を目標とする。
そのためのステップとして、躯体性能を十分に上げることを優先して、次に高効率設備の導入を検討していく。この2点の検討をしっかり行い、
太陽光発電等で行う創エネに過度な負担が掛からないようにする。太陽光発電等の容量を抑えることで建築コストの増加をできるだけ抑えることとする。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。